

北朝鮮が核実験

6回目、過去最大規模

日本政府によると、北朝鮮北東部で日本時間の3日午後0時29分ごろ、マグニチュード(M)6.1の地震波が観測された。河野太郎外相は核実験だと断定した。安倍晋三

首相は記者団に対し「断じて容認できない」と述べた。北朝鮮の核実験は昨年9月9日の建国記念日以来で、今年1月のトランプ米政権発足後は初めて。場所は北東部豊溪里とみられ、爆発規模は過去最大。中国地震局は別の地震波を感知したと発表、複数の実験を行った可能性もある。

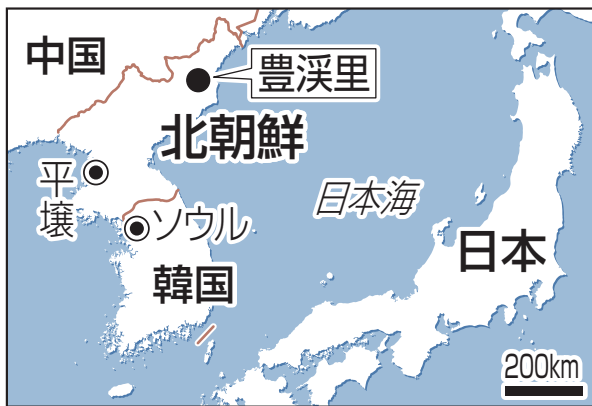


北朝鮮国営メディアは3日、金正恩朝鮮労働党委員長が、新たに製作した大陸間弾道ミサイル(ICBM)搭載用の水爆を視察したと報じていた。北朝鮮は米本土攻撃の要衝グアムを射程に収める中距離弾道ミサイル「火星12」(最大射程5千キロ)を発射、北海道上空を通過し、太平洋の公海上に落下させた。

5月18日に撮影された、北朝鮮・豊溪里にある核実験場の衛星写真。丸で囲った部分に、新たに建設が始まったとみられる建物が写っている(デジタルグローブ/38ノース提供・Getty Images共同)

北朝鮮は7月4日にICBM「火星14」の初の発射実験を実施し、28日には2回目を強行。射程は米シカゴやロサンゼルスに届く1万キロ超の恐れがあるとみられている。国連安全保障理事会は8月5日、制裁強化決議を採択。トランプ政権は、米本土を攻撃できる核ミサイルの保有を阻止するため「あらゆる選択肢」を排除しないとしており、緊張が高まるのは必至だ。

5月18日に撮影された、北朝鮮・豊溪里にある核実験場の衛星写真。丸で囲った部分に、新たに建設が始まったとみられる建物が写っている(デジタルグローブ/38ノース提供・Getty Images共同)



北朝鮮は昨年1月、「水爆」と称して4回目の核実験を実施。9月には弾道ミサイル搭載用の核弾頭の爆発実験とする5回目を強行、爆発規模は過去最大級の10〜30キロとみられていた。(共同)